

就労継続支援B型事業

就労継続支援 B 型事業

○ 事業のコンセプト

- ・ご利用者の希望に合わせて幅広い層のご利用者に利用していただける事業所
- ・段階的にステップアップしていけるコース別システム
- ・個性を活かした作業の提供

○ 目 標

- ・平均工賃 1 万円を持続していく
- ・半年を 1 クールとして最低 1 つ以上出来る事を増やしていけるようにしていきます
- ・自立支援の一環として公共交通機関等を利用しての自力通所の実現に向けて支援していきます

○ 支援員の立ち位置

- ・社会生活に必要なマナー（挨拶や言葉遣い等）を身に付けていただけるよう支援する
- ・日常生活訓練（掃除、洗濯、調理等）に取り組んでいただく機会を増やす
- ・アセスメントを行い、ご利用者の生活や障害特性等を考慮した支援を行う
- ・道具の活用や伝え方等を工夫し、ご利用者が作業を含むあらゆる事に対してご自分で出来るようになる方法を考える

○ アセスメントについて

- ・作業等において出来る、出来ないだけで判断せず、どうしたら出来るようになるのかに着目する。
- ・出来ない事に着目する減算方式から出来る事に着目する加算方式の視点でみる。
- ・先入観を持たず、ご利用者の思いやこれまでの成育歴（背景）の部分を考慮して、傾聴する。
- ・ご利用者が話しやすい環境を作る。（座る位置や距離感、部屋の温度等）
- ・アセスメントについて共通する指標で行う必要性がある為、アセスメント表の様式は今後検討。

スケジュール案 (1日の流れ)

時 間	内 容
～ 9:40	送迎 又は 自力通所にて時間までに来所
9:40 ～ 9:45	・ラジオ体操
9:45 ～ 10:00	・朝 礼 (本日の予定確認 等) ※ご利用者が交代で行う ・健康チェック
10:00 ～ 10:50	・作業訓練 (施設内、施設外作業 等)
10:50 ～ 11:00	休 憩
11:00 ～ 12:00	・作業訓練 (施設内、施設外作業 等)
12:00 ～ 13:00	休 憩 ・ 昼 食
13:00 ～ 13:50	・作業訓練 (施設内、施設外作業 等) ・日常生活訓練 (不定期)
13:50 ～ 14:00	休 憩
14:00 ～ 15:00 自力通所の方は 14:30まで	・作業訓練 (施設内、施設外作業 等) ・ウォーキング (天候や季節等により行わない場合もあり) ・日常生活訓練 (不定期)
15:00 ～ 15:15	・終 礼 (明日の予定確認 等) ※ご利用者が交代で行う
15:15 ～	帰 宅 (送迎 又は 公共交通機関等を利用)

※ 基本的には上記のスケジュールで利用していただきますが、ご利用者の状況や希望に合わせたプログラムで利用していただきます。

プログラム メニュー 一覧表

○ 施設内作業

作業分類	作業内容	ご利用者 従事予定人数	必要職員数
製造関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイロン（モップ等） ・八鹿電機 ・マット編み ・畑作業（期間限定） ・ルーセント（タオルたたみ等） 新規 ・佳長（箱折り等） 現在休止中 	施設外作業と下記の施設内作業に従事される方以外 (19～21名)	2～3名
授産製品関係	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキー ・紙漉き 	7名 5名	各1名
清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・複合型多機能施設清掃 (2F・トイレ・浴室等) 	7～8名	1名
合計人数		38～41名	5名

○ 施設外作業

作業分類	作業内容	ご利用者 従事予定人数	必要職員数
清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・和田山ホテル（火～金） ・TSUTAYA（月） ・ふるさと（水、金） ・立雲の郷（月、水、金） 	2名 1名 2名 2名	各1名
接客	<ul style="list-style-type: none"> ・とまり木サロン（月～金） 	1名	1名
合計人数		4～7名	曜日により 3～4名

○ 日常生活訓練（日 課）

分 類	訓練内容	ご利用者 参加予定人数	必要職員数
マナー	・挨拶 ・言葉遣い ・朝礼、終礼の司会（順番に交代）	全員	全員
体力作り	・ラジオ体操 ・ウォーキング	全員	全員
合計人数		全員	全員

○ 日常生活訓練（不定期）

分 類	訓練内容	ご利用者 参加予定人数	必要職員数
余暇活動	・3B 体操 ・プール（くじら） ・買い物 ・外出行事（年に2回程度）	内容により変動 しますが全員を 対象とする	参加される ご利用により 変動
家 事	・調理実習 ・洗濯	内容により変動 しますが全員を 対象とする	複数名 ボランティア や応援職員等
合計人数		内容により変動	左記と同様

※自力通所を希望される方については、工賃に加え報償費をお支払いするよう検討しています。